（別添）

○○地域資源保全会地域資源保全管理構想

（令和○年○月作成）

１．地域で保全管理していく農用地及び施設

・対象とする農用地、施設及び面積、延長を活動計画書の内容から転記する。

・「その他施設等」には、鳥獣害防止施設、防風林等その他の地域で保全管理していく施設について記載する。無ければ（３）は削除する。

（１）農用地

　　　田：　○ａ

　　　畑：　○ａ

（２）水路、農道、ため池

　　　水　路：　○ｋｍ

　　　農　道：　○ｋｍ

　　　ため池：　○箇所（※対象施設にため池が無い活動組織は記載しない）

（３）その他施設等

　　　鳥獣害防護柵：○ｍ

　　　防風林：○ｍ

２．地域の共同活動で行う保全管理活動

・対象とする活動の範囲、内容を活動計画書から転記する。該当しない活動（防風林等の草刈り、ため池の草刈り泥上げ等）は削除する。

（１）農用地について行う活動

　　　・遊休農地発生防止のための保全管理

　　　・畦畔、農用地法面の草刈り

（２）水路、農道、ため池について行う活動

　　　・水路の草刈り・泥上げ

　　　・ポンプ、ゲート類の施設管理（注油、さび止め材塗布）

　　　・農道の路肩、法面の草刈り、側溝の泥上げ

　　　・路面の維持（砂利補充）

　　　・ため池の草刈り、泥上げ

　　　・ため池付帯施設の清掃、除塵等

（３）その他施設について行う活動

　　　・防風林等の草刈り

　　　・鳥獣害防護柵等の下草刈り

３．地域の共同活動の実施体制

（１）組織の構成員、意思決定方法

　　　・組織の構成員は別紙参加同意書のとおりとする。

　　　・組織の意思決定は総会により行う。

（２）構成員の役割分担

・「２．地域の共同活動で行なう保全管理活動」で記載した活動について、担い手農家、それ以外の農家、土地持ち非農家、地域住民等の参画等を記載する。

　　① 農用地について行う活動

　　　・遊休農地発生防止のための保全管理：構成員全体

　　　・畦畔、農用地法面の草刈り：畦畔は農業者個人、法面は構成員全体　　等

　　② 水路、農道、ため池について行う活動

　　　・水路の草刈り・泥上げ：構成員全体

　　　・ポンプ、ゲート類の施設管理（注油、さび止め材塗布）：農業者

　　　・農道の路肩、法面の草刈り、側溝の泥上げ：構成員全体

　　　・路面の維持（砂利補充）：農業者

　　　・ため池の草刈り、泥上げ：構成員全体

　　　・ため池付帯施設の清掃、除塵等：農業者　　等

　　③ その他施設について行う活動

　　　・防風林等の草刈り：構成員全体

　　　・鳥獣害防護柵等の下草刈り：農業者　　等

・人・農地プラン等を基に、担い手農家、農地集積の現状及び目標を記載する。

４．地域農業の担い手の育成・確保

（１）担い手農家の育成・確保

　　　・今後の地域の中心となる経営体（担い手）は存在するが、十分ではないため、新たな担い手を創出する。

　　　・今後の地域の中心となる営農組織を設立して担い手を確保する。

　　　・地域内の営農組織の農業生産法人化を行い、地区外からの人員も確保する。

　　　・担い手の高齢化が進んでいるため、世代交代による若返りを図る。

　　　・新規就農者を確保し、次世代の担い手として育成する。　　　等

（２）農地の利用集積

　　　・担い手に集約・集積化する

　　　・担い手の分散錯圃を解消する

　　　・農業をリタイヤ・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける

　　　・担い手の分散錯圃を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける　　等

５．適切な保全管理に向けて取り組む活動・方策

・作成後５年程度を見通し、今後の課題、目指すべき姿、そのために取り組むべき活動・方策を記載する。

　　　・集落内の人員確保が難しい状況であるため、周辺の集落と合同で活動に取り組む。

　　　・地域の更なる活動の拡大を行うために活動の広域化を推進する。

　　　・農地や施設、地域環境を保全するため農地周辺部の活動を拡大する。

　　　・遊休農地の有効活用として、小学校等と連携して、田んぼ体験を実施し農業への関心を高める活動を行う。

　　　・地域を守る取組の魅力の情報発信のために、組織だより等を作成し、活動への新たな参画者を募る取組を行う。

　　　・地域の景観・環境等、地域資源の魅力をインターネット・ＳＮＳ等を利用して地区外の方の関心を高め、地域の活性化、保全管理等への参加者が増えるような取組を行う。

　　　・保全管理の省力化のための簡易な基盤整備や機械化、保全管理に必要な施設の整備を行う。

　　　・３の（２）の役割分担に基づき地域資源の保全管理を図る。

　　　・地域資源の保全管理体制の強化に向け活動組織の広域化を進める（NPO 法人化を図る）とともに、これに併せて○○活動の担い手として○○団体の参画を得ることとする。

　　　・農地を保全するための農地周辺部における活動として新たに○○の駆除に取り組むこととする。

　　　・遊休農地を活用し○○を栽培することで、農地の保全を図るとともに、観光資源や地域特産品として活用する。

　　　・年に○回、町の広報誌に保全活動の紹介記事を掲載し、地域を守る取組の魅力を情報発信する。

　　　・地域の生態系の保全に資する○○活動について、○○を活用して積極的にPRすることにより、地域住民の参画を促す。

　　　・植栽活動や清掃活動を通じ、地域の景観を良好に保つとともに、「自分たちの地域は自分たちが守る」という意識を地域住民に醸成し、これまで活動に参加していなかった方に水路や農道等の施設の保全活動への参加を促す。

　　　・学校教育と連携し、子供たちに農業用施設の役割や保全管理の重要性について学び理解を深めてもらう。

　　　・保全管理の省力化に向け、草刈作業については○○農業法人が所有するモアを用いて実施する。

　　　等

　　　※ ため池やその他施設等は、該当がない場合は、項目を削除する。